

つばた

議会だより

No.124

2013. 1. 1

迎春



北陸初!!

通年議会を本格実施

2P

クローズアップ 住宅リフォーム助成など

4P

委員会審議 農業公園計画案が示される

6P

いっばん質問 いじめ・DVなどの対策をなど 11人が登壇

14P

あの質問のゆくえ 志賀原発の事故対策を

25P

つきたてはおいしいな!

(能瀬保育園)

で条例可決

終了に伴い

会を本格実施

12月会議を4日から11日までの会議期間で開催した。初日に一般会計・特別会計補正予算、条例の制定・改正などを含む議案30件、承認1件が提出され、引き続き町政全般について11人が一般質問を行った。議案は、各常任委員会審議を経て全議案を可決、請願3件を採択した。議会提出の意見書5件、議会の会期及び定例日を定める条例など議会議案2件を可決した。続いて、人権擁護委員の推薦について同意し、会期を繰り上げて閉会した。

平成24年2月から試行していた通年議会を、25年から本格実施することに決定し、「津幡町議会の会期及び定例日を定める条例」と「津幡町議会議規則の一部を改正する規則」の議会議案2件を全員賛成で可決した。

本格実施に伴い新しく変わった点

◆呼称の変更

「定例会」「臨時会」の用語を使用せず、第○回津幡町議定会定例会○月会議が津幡町議会○月会議となる。

◆会期

会期は毎年1月15日から翌年1月14日までとなる。

◆会議の日程

一般質問は3・6・9・12月の会議に行う。会議は4日を初日とする。
※4日が休日の場合、4日以降の最も近い平日が初日となる。

導入の背景と旧制度との違い

平成16年の地方自治法改正により、はじめて自治体が任意に議会のあり方を決めることができるようになり、全国的に議会制度改革が進められるようになった。

これまでは、町長が議会を招集して開会になる制度のため、議員が緊急の問題だと思っても町長から招集がなければ議場に集まって議論をすることができなかった。

通年議会制度を導入することで、招集権が議長に移り、必要に応じて柔軟な議会開催が可能となり、効率のよい議会運営を図ることができるようになった。

今後、議会改革検討委員会を中心に議会改革を進めていく。

北陸初!!

全員賛成

試行期間

通年議



人事



芝田 悟氏

(中橋)
再任

(全員賛成)

選任された委員

人権擁護委員

条例改正

病室を柔軟に

有効活用

河北中央病院の一般病床のうち、亜急性期病床の数を定めていたところを、状況に応じて柔軟に活用できるようにする。

(全員賛成)

※亜急性期病床

ケガや病気への急性期の治療が一段落したあと、在宅復帰に向けて入院加療する病床のこと。在宅復帰や介護施設への転院を目指し、リハビリテーションなどを実施する。
入院期間は最長で60日となっている。

とに使われます

一ズアツプ

一般会計補正予算

2億4070万円を可決

(賛成15人・反対2人)

一般会計総額127億3419万円に

12月補正で新たに行われる事業など、一部を紹介します。

住宅リフォーム助成

759万円



▶ビフォー



▶アフター

緊急経済対策の一環として平成24年4月からスタートした住宅リフォーム助成事業は299件の申請があり、全体工事費として約4億9000万円となり、大きな経済効果があった。
当初予算では1000万円を計上したが、予想以上の申請があったため、5月、7月、9月に補正し、さらに12月に759万円を補正し、合計5559万円となった。

コンビニ収納手数料

25万円

町税をコンビニで収納した際に発生する手数料。当初1万6000件と見込んでいたが、さらに約4000件上回ると見込まれる。

Q コンビニ収納と口座振替の手数料は1件当たりいくらか。

A コンビニ収納は63円、口座振替は10円50銭かかる。

保育園給食

放射性物質検査

2.4万円

保育園給食材料のさらなる安全・安心のために検査を専門機関に委託する。

Q 内容は。

A 給食の安全性をより一層理解し、安心していただけるよう、保育園で提供した給食1週間分の、放射性物質の有無や量を調べる検査を実施する。

中学生海外派遣交流事業

(債務負担行為)

670万円

平成25年度に実施する予定の事業であるが、24年度中に予約手続きなどが必要なため、契約・実施などにかかる費用を債務負担行為で設定する。

※債務負担行為

予算の内容の一部として契約等で発生する将来の一定期間、一定限度の支出負担枠を設定すること。

反対

町は業務委託をする際に、事前、事後、派遣期間中の活動内容を随時報道することを条件としている。特定の会社しか入札に参加できないような条件は見直すべきである。

中村一子議員

賛成

平成24年8月に津幡中・津幡南中とオーストラリア、ノーザン・ビーチ学校との姉妹校締結が行われた。さらに、25年9月には念願だった同校から両中学校への生徒の派遣が決定した。交流が発展しており、今後も交流事業を推進すべきである。

道下政博議員

地域介護・福祉

空間整備事業費

1000万円

介護サービス基盤を整備するための国の交付金。

Q 交付金の内容は。

A 平成25年度開設予定の定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業所の事業立ち上げに必要なとなるオペレーションシステムやケアコール端末購入などの経費である。

職員行政改善提案

報償費

7.5万円

職員提案月間に、予想以上の提案があったため補正する。

Q 対象の人数は。

A 提案者97人のうち、佳良賞7人に5000円分、奨励賞34人に1000円分のドレミファ商品券を贈呈する。

危険通学路解消

1455万円

経済危機対応・地域活性化予備費を活用し、7路線の舗装や側溝改良を行い、通学路の安全を確保する。

Q 今後の予定は。

A 安全点検を実施した結果、町管理の道路16路線の対策を検討した。残りの路線は、平成25年度から27年度までに順次対策工事を実施する。



▲通学路点検中

商工業振興促進助成費

1293万円

町内における商工業の振興促進を図るため、申請があった(有)北商事と(株)島製作所に助成する。

Q 助成内容は。

A (有)北商事は旭山工業団地内にペットボトルやアルミ缶などの廃棄物中間処理工場を新設した。用地・建物に対し177万円を助成する。

(株)島製作所は富田工業団地内の計画的な用地の取得、工場の増設をした。用地・建物に対し1115万円を助成する。

10月会議

大地震に備えて
総合体育館

耐震化工事スタート

10月会議を10月23日に開催し、総合体育館の耐震工事請負契約の締結を含む2件の議案が上程された。

議案は常任委員会の審議を経て可決、平成23年決算を認定した。

請負契約の
締結

締結

○津幡町総合体育館耐震
改修工事
1億5750万円
(全員賛成)

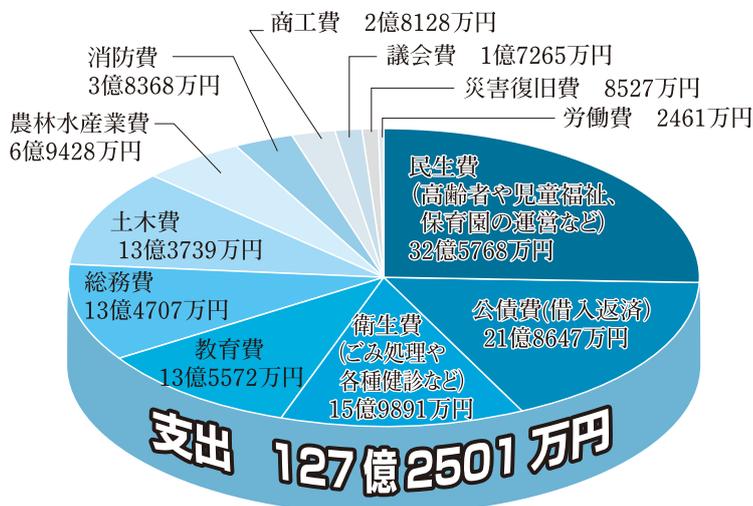
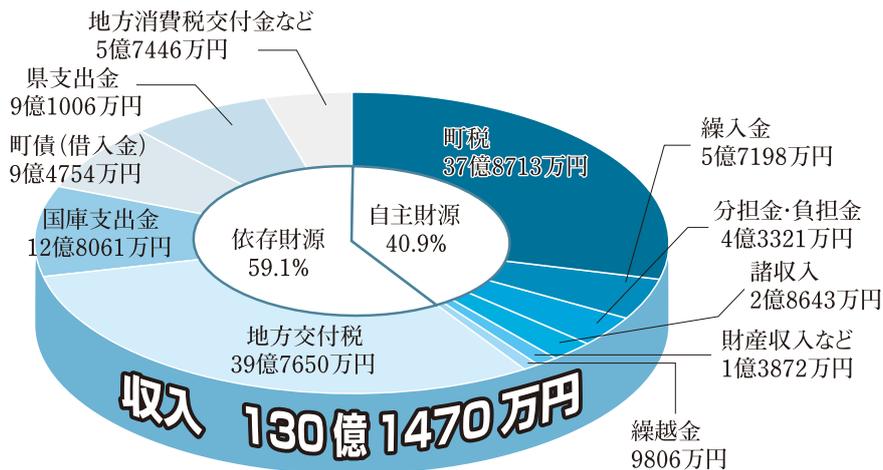
水道事業
剰余金の処分

平成23年度水道事業
会計未処分利益剰余金
2146万円のうち、
1500万円を減債積
立金に、400万円を
建設改良積立金に、そ
れぞれ積み立てる。
(全員賛成)

厳しく検証

127億2501万円をチェック!!

一般会計決算 (賛成14人・反対2人)



9月会議で設置した決算審査特別委員会を9月19日から10月4日にかけて開催し、平成23年度一般会計と10特別会計、2事業会計の決算を審査した。10月会議で審査結果を報告し、認定した。

決算審査特別委員会

| | |
|------|-------|
| 委員長 | 向 正則 |
| 副委員長 | 多賀 吉一 |
| 委員 | 八嶋孝司 |
| 委員 | 黒田 英世 |
| 委員 | 荒井 克 |
| 委員 | 森下 時夫 |
| 委員 | 道下 政博 |



●事業会計● (全員賛成)

| 会計名 | 収入 | 支出 | |
|--------|-------|----------|----------|
| 河北中央病院 | 収益的収支 | 9億46万円 | 9億8118万円 |
| | 資本的収支 | 1億4965万円 | 2億139万円 |
| 水道 | 収益的収支 | 7億1499万円 | 6億8077万円 |
| | 資本的収支 | 6586万円 | 1億9973万円 |

●特別会計●

(全員賛成)

| 会計名 | 収入 | 支出 |
|------------------|-----------|-----------|
| 国民健康保険 | 30億8795万円 | 29億8978万円 |
| 直営診療所事業 (河合谷診療所) | 457万円 | 457万円 |
| 後期高齢者医療 | 2億7574万円 | 2億7123万円 |
| 介護保険 | 21億8724万円 | 21億6082万円 |
| 簡易水道事業 | 610万円 | 568万円 |
| 公共下水道事業 | 19億4802万円 | 19億1473万円 |
| 農業集落排水事業 | 1億6327万円 | 1億6327万円 |
| バス事業 | 7612万円 | 7365万円 |
| ケーブルテレビ事業 | 6169万円 | 6169万円 |
| 河合谷財産区 | 154万円 | 55万円 |

一般会計支出総額

決算の主な指摘事項

総務部関係

例規集を含め、町ホームページに最新のデータが提示されるよう努めよ。

町民福祉部関係

児童保育施設での高学年児童の受け入れ基準、補助基準の整備を図れ。

産業建設部関係

大滝憩いの広場について、早急にあずまの増築部分の危険性を改善するような手立てをし、安全管理の強化を図れ。

上下水道関係

公共下水道施設および農業集落排水施設に包括的民間委託契約を導入することを検討せよ。

病院関係

公立病院として地域に密着した医療をさらに展開せよ。

総括

経常収支比率が89・9%、実質公債費比率が16・8%と毎年改善されているものの、各種事務事業を着実に取り組むための財源の確保とその計画、実行、評価、改善を継続的に行い、引き続き財政健全化に向けた計画的な財政運用を図れ。

決算審査の過程で、速やかに実施、検討するなどの回答があったもの。

総務部関係

・町民から募集した「おすすめスポット」は、ホームページに掲載するなど、その有効活用を図る。

産業建設部関係

・公用車で高速道路の運転を想定しているものは、ETCの取り付けを早急に検討する。

教育部関係

・津幡小学校改築事業の事業事後評価を実施する。

・全国社会人相撲選手権大会で参加費の徴収を検討する。

・町指定文化財（史跡）管理を委託している施設で、別に委託料を支払っている他課との委託区分を検討する。

・緑の少年団の活動内容を精査し、統合も検討する。

※経常収支比率

人件費や公債費など経常的な支出に対して町税などの経常的収入がどの程度充当されているかを示す。

※実質公債費比率

借入金の返済額などの大きさから、資金繰りの危険度を指標化した数値。



▲初めてのもちつき



今の自衛隊のあり方に大きな問題があり、自治体が自衛隊の募集に関わることに税金を使うことは認定できない。

また、道路工事は緊急度の高いものから優先すべきである。

塩谷 道子 議員



必要性、緊急度を勘案し、効率よく予算配分するという目標にそって執行しており、安全、安心な生活を実現するやさしいまちづくりを目指す姿勢がうかがえる。

八十嶋孝司 議員

討論

請願3件を審査

みなさまからの

採択

防災・減災体制再構築推進基本法
(防災・減災ニューディール基本法)
の制定を求める

◎請願者

公明党津幡支部津幡地区委員

紹介議員 高谷 芳明
道下 政博
(全員賛成)

採択

患者数が特に少ない希少疾病用医薬品(ウルトラ・オーファンドラッグ)の開発促進・支援のための法整備等を求める

◎請願者

公明党津幡支部津幡地区委員

紹介議員 高谷 芳明
道下 政博
(全員賛成)

採択

次代を担う若者世代支援策を求める

主旨

患者数が日本で1000人以下の希少疾病に関する研究事業に継続的な支援を。

◎請願者

公明党津幡支部津幡地区委員

紹介議員 高谷 芳明
道下 政博
(賛成15人・反対2人)

主旨

若者の雇用改善のために「若者雇用担当大臣」を設置し、非正規労働の仕組みの改善や雇用創出案を集中的に行うこと。

少数意見

主旨の大筋は理解できるが、大臣ポストにこだわる項目には賛成できない。

上記の採択された3件の請願は
意見書を内閣総理大臣ほか
関係機関に送付しました

委員会発議で意見書を国・県に提出

地球温暖化対策に関する「地方財源を確保・充実する仕組み」の構築を求める意見書

総務常任委員長 酒井 義光

1 二酸化炭素吸収源として最も重要な機能を有する森林の整備・保全等を推進する市町村の役割を踏まえ、地球温暖化対策のための税の一定割合を、森林面積に応じて譲与する「地方財源を確保・充実する仕組み」を早急に構築すること。

(全員賛成)

石川県におけるドクターヘリの早期配備を求める意見書

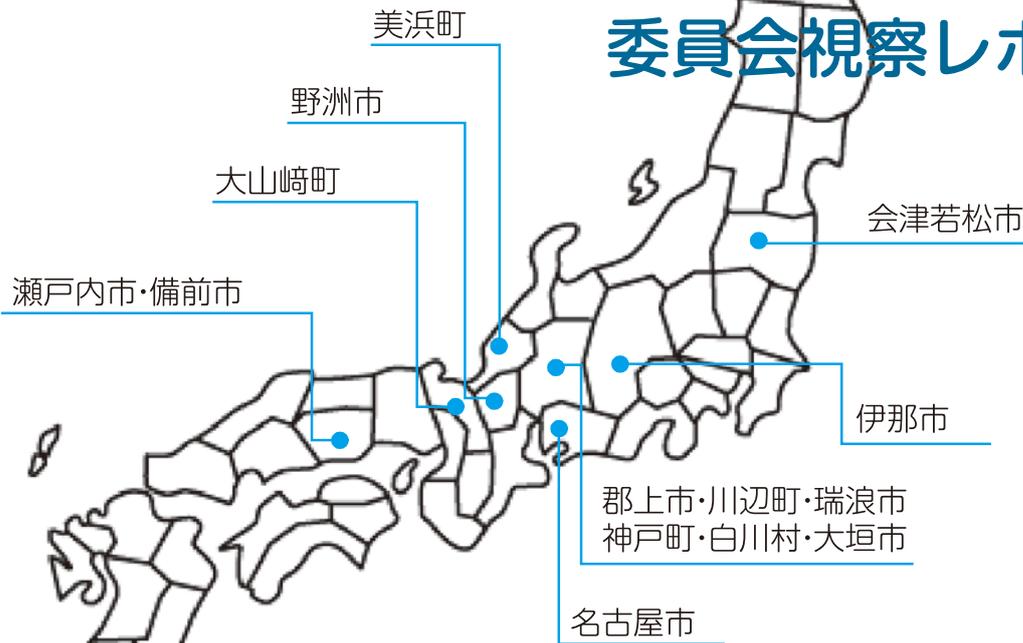
文教福祉常任委員長 多賀 吉一

- 1 特別措置法の趣旨に基づき、ドクターヘリの導入に向けた具体的検討および施策を速やかに実施すること。
- 2 ドクターヘリの配備については、基地病院から現場への飛行時間が15分以内であることが救命に最も有効とされている。したがって、南北に長い地勢を考慮し、県下2機配備とすることが必要であるが、搬送時間等がより厳しい状況にある能登地域における導入を第一に行うこと。
- 3 ドクターヘリの導入および運営についての財政負担については、県単独の助成制度を設け市町および医療機関に負担が生じないようにすること。

(全員賛成)

先進地に学ぶ

委員会視察レポート



総務常任委員会

新エネルギーの可能性と

農業公園の整備手法

(岐阜県郡上市・川辺町・瑞浪市)
(長野県伊那市)

10/10~11

【視察の目的】

原子力発電にかわる自然エネルギーの可能性や実用性などを学ぶ。
また、町で整備が進められている農業公園の整備手法について学ぶ。

【研修内容】

- ・石徹白マイクロ水力発電施設 (郡上市)
- ・川辺バイオマス発電株式会社 (川辺町)
- ・釜戸小水力発電施設 (瑞浪市)



▲水の流れも無駄にせず
(石徹白マイクロ水力発電施設)

年間60万人ほどが来場する農業公園であり、イチゴ、リンゴ、ブルーベリーなどの収穫体験もできる。農協、地元企業、農業経営者を含めて経営している。

・みはらしファーム (伊那市)

水道管の有効落差15mを利用した発電施設で、年間75万kwh発電している。もともとあった施設を有効活用している。

・川辺バイオマス発電株式会社 (川辺町)
建築系廃材と森林系廃材からなる木質チップを使用し、1時間当たり4300kwの電気を発生している。CO₂排出と廃棄物を削減する新世代のエネルギーである。

地域総合型スポーツクラブと 歴史資料館の現状を学ぶ

10/10~11

(福井県美浜町)・(岐阜県神戸町)
(京都府大山崎町)・(滋賀県野洲市)



▲工夫がほどこされた展示
(若狭国吉城歴史資料館)

【視察の目的】

当町で建設計画のある歴史資料館、さらなる活性化が期待される地域総合型スポーツクラブの先進地を視察し、現状を学ぶ。

【研修内容】

・**ごうごスポーツクラブ**
平成13年から3年間、文部科学省のモデル事業を受けたことがきっかけで設立された。

中学生の部活動は土日はスポーツクラブとして活動しており、学校の先生もクラブ員として指導し、謝金も出ている。

・**大山崎町歴史資料館**
歴史資料以外にも自分で操作できる装置、ジオラマ、映像展示など、工夫された展示が行われている。ボランティアガイドの育成に力を入れている。

・**野洲市歴史民俗博物館**
近くの大岩山から出土した銅鐸や資料の展示を行っている。勾玉づくりの体験や歴史講座なども行っている。

・**若狭国吉城歴史資料館**
(美浜町)
町の総合博物館計画の中の国吉城に特化している資料館である。旧民家を移築して活用していることから歴史の重みを感じることが出来る。企画展示を毎年行っている。

産業建設 常任委員会

10/10~11

代替エネルギー施策を学ぶ

(岐阜県白川村・大垣市)
(愛知県名古屋)

【視察の目的】

原子力発電所を取り巻く環境が不透明な中、自然エネルギーを調査・研究している施設等の現状を研修する。

【研修内容】

・**しらみずのチカラ**

(白川村)

小水力発電を行い、安定した水量を確保することで、最大150kw(一般家庭30~50戸分)を発電している。隣接する温泉施設では年間300万

円の経費削減が見込まれている。

・**名古屋市五条川工場**

灰熔融施設が導入されたごみ処理施設である。ごみを焼却する際に発生する熱を利用して発電している。年間で一般家庭3万5000戸分の発電能力がある。

ごみの焼却に伴い発生する溶融スラグや溶融メタルを再利用するなど、環境への負荷を軽減する工夫が見られた。

・**大垣市クリーンセンター**

ごみを焼却する際に発生する熱を利用して発電している。年間で一般家庭3600戸分の発電能力がある。

大部分を市が負担して建設したが、維持管理費用に相当額がかかり、採算をとるのは難しいようだ。



▲わが町にも導入可能か
(しらみずのチカラ)

議会運営と活性化の取り組みと 農業公園の運営管理

10/24~25

(岡山県瀬戸内市・備前市)

議会運営委員会

県森林公園活性化対策特別委員会

【視察の目的】

議会運営と活性化の取り組み、農業公園の運営管理と施設を活用した取り組みを研修する。

【研修内容】

- ・瀬戸内市議会
議案不可分の原則から
予算常任委員会、決算常
任委員会を設置しており、
ほぼ全議員が委員となっ
ている。
- ・体験型農業公園フルー
ツパークびぜん
(備前市)
平成12年に設立され、
約5haの敷地に岡山名産
の白桃、ブドウ、ミカン
などを栽培し、収穫体験
を楽しむことができる。
栽培する果実は採算を考
えて植え替えを行っている。

小学生が遠足も兼ねて
来園するなど、団体の来
園も多い。



▲さまざまな情報収集
(フルーツパークびぜん)

議会改革検討特別委員会

意見交換会と議員間討議を学ぶ

11/8~9

(福島県会津若松市)



▲活発な意見交換

【研修内容】

- ・会津若松市議会
市民との意見交換会は
地区別と分野別に分かれ
ている。地区別意見交換
会では、自治体の問題を
投げかけることもあれば、
地域に特化した話題もあ
る。分野別意見交換会は、
議員自らの紹介により、
団体との意見交換を行っ
ている。

【視察の目的】
議会基本条例、議員政
治倫理条例の制定、市民
との意見交換会、議員間
討議や政策提言などにつ
いて、先進の取り組みを
学ぶ。

市民に議決説明責任を
果たすためには、議会全
体として議案について論
点を抽出し、整理した上
で、それに基づいて審査
(質疑)を行う必要がある。
そのために議員間討
議を行っている。

ズバリ

町政を問う

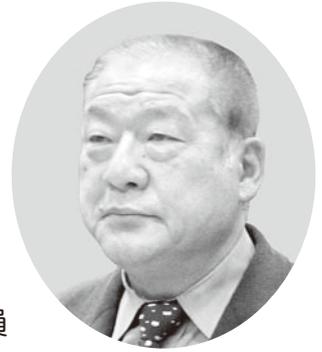
11人が一般質問

一般質問とは、議員が町政全般について町長など執行機関に考えや方針を問うものです。制限時間は1人30分で、一問一答方式で行われます。

- 1 角井外喜雄 議員……………14
 - ・いじめを見逃さない学校づくりを
 - ・認知症安心ネットワーク役割実態に即した訓練を
- 2 西村 稔 議員……………15
 - ・消雪装置の県への要望は書面だけか
 - ・災害協定の締結内容は ほか2問
- 3 多賀 吉一 議員……………16
 - ・住宅リフォーム助成金の一部を買物券で
 - ・歴史資料館建設のコンセプトは
- 4 中村 一子 議員……………17
 - ・町営バス路線改正後の周知方法は
 - ・地域防災計画策定に女性の視点を ほか2問
- 5 森山 時夫 議員……………18
 - ・防災行政無線屋外拡声子局の管理は
 - ・森林公園内子供の広場の安全対策を ほか2問
- 6 黒田 英世 議員……………19
 - ・企業誘致活動を活性化せよ
 - ・児童虐待の早期発見が重要だ ほか1問
- 7 八十嶋孝司 議員……………20
 - ・地方税滞納整理機構への参加意思は
 - ・通学路の安全確保を ほか1問
- 8 塩谷 道子 議員……………21
 - ・再生可能エネルギーの可能性を調査せよ
 - ・要介護認定者全員に控除認定用紙を送付せよ ほか2問
- 9 荒井 克 議員……………22
 - ・DV被害者の支援は
 - ・交流人口の拡大を図れ
- 10 酒井 義光 議員……………23
 - ・交差点の視界を遮る植栽の手入れを啓発せよ
 - ・天然温泉を町の活性化に
- 11 道下 政博 議員……………24
 - ・リース方式による公共施設へのLED照明の整備を
 - ・レアメタルなどのさらなる回収を ほか2問

次回の一般質問は、3月会議の2日目
平成25年3月5日(火)の予定です。

ん質問



角井外喜雄 議員

いじめ

見逃さない

学校づくりを

スクールカウンセラーの配置
今後拡大を検討する

角井 議員

国はいじめ対応マニュアルを全面改訂し、すべての公立小・中学校にスクールカウンセラーを配置することを決定した。町教育委員会は小・中学校に配置するのか。

また、県は暴力によるいじめの被害届を警察に出すよう指導しているが、学校は毅然とした態度で学校内において対応を図るべきで。

早川 教育長

スクールカウンセラーは町内2中学校と1小学校に週1回配置し、対応している。今後も充実させるよう努力していく。

警察への被害届は最終的には保護者の判断となる。悲しい結果を生まないうれためにも早期発見、早期対応、家庭・地域との連携が必要である。

認知症安心ネットワークの役割 実態に即した訓練を行うべき

今後、訓練内容を改善していく

搜索訓練

角井 議員

現在行われている認知症搜索訓練は、地域単位の小規模な訓練である。実際に行方不明者が出た場合、まず警察へ搜索願を出し、行政は警察から連絡を受け関係機関へ通報する。認知症安心ネットワークもその一員となつて活動できるように実態に即した訓練を行うべきではないか。

板坂 町民福祉部長

搜索訓練は地域住民が主体となり実施している。今回は地区委員会の中の情報伝達から搜索に至るまでの役割を確認するものであり、警察など他の機関との連携までは想定していなかった。今後は効果的な搜索活動ができるよう、整備中の防災行政無線の活用なども視野に入れ訓練内容を改善していく。



▲真剣に取り組む（井上地区）



西村 稔 議員

ズバリ 町政を問う

いっぴ

県への要望は書面だけか

知事に直接要望している

消雪装置

西村 議員
平成23年9月に、主要地方道高松津幡線の加賀爪から津幡駅までの道路の消雪装置設置を早期に着工せよと一般質問した。しかし、県に要望しているとの返事しかない。県に対して書面だけの要望で実現できるのか。いつ実現するのか。



いつ整備される

矢田 町長

矢田 町長
県町長会の知事要望で知事に直接要望事項の説明を行ったほか、さまざまな機会に事業化に向けて要望している。町道であればいつまでに対応すると言えるが、主要地方道高松津幡線は県道であり県の判断となる。

災害協定

締結内容を広報せよ

ホームページに

掲載している

西村 議員

西村 議員
生命、財産、暮らしを守るためにも防災訓練は重要と考える。町が災害協定を結んでいるのはどこか。災害協定協力者全体会議を開催したことはあるか。

また、町の防災総合訓練に参加したのはどこか。不参加協力者は、訓練を知らなかったのか。町民に協定の締結事項を広報紙などで知らせるべきである。

長 総務部長

長 総務部長
災害協定の締結先は、金沢市などの自治体7件、消防関係6件、電気、土木、通信、医師など25件ある。

それぞれの分野で異なる役割について締結しており、全体会議を開く必要はないと考える。

防災総合訓練の参加は、開催時に都合がつかず参加できない機関もあったが、ほとんどは協力的である。

町民に安心していただけるよう、多くの機関との協定を締結しており、協定事項はホームページに掲載している。



▲災害に役立つダンボールの簡易ベッド、間仕切り、トイレ

その他の質問

Q 農業公園建設予定地の管理は。

A 山林であり、現状のままとなっている。

Q 上下水道施設の老朽管の管理は。

A 計画的に布設替えを実施している。

ん質問



多賀吉一 議員

住宅リフォーム

助成金の一部を

買物券で

期間限定であり

見直しは難しい

多賀 議員

平成24年4月から始まった住宅リフォーム助成制度は9月までの6か月ではあったが、大変好評であり、利用者も多く、厳しい経済状況の中、町内の建築業者にとっては大きな経済効果があったと思われる。

この事業は25年4月からまた再開されるが、さらなる経済効果をもたらすため、助成金の一部を町内で使用できるお買物券での支給を検討せよ。

矢田 町長

本制度の申請件数は299件あり、全体工事額は約4億8700万円で、町内の71事業者に利用され、大きな経済効果があったものと考えている。

助成金の一部を町内で使えるお買物券にすれば、加盟店にとってはさらに経済普及効果が期待できるが、あくまで2か年の期間限定の事業であり、制度を根本的に見直すことは難しい。



▶お買い物券での支給を

歴史資料館建設のコンセプトは

歴史や文化を再発見してもらう

津幡小跡地

多賀 議員

町の歴史を知り、先人たちの知恵や功績をたたえることは大切である。しかし、安易な考え方で、単に出土品や古い物などを展示するだけでは、将来誰も来ない施設になりかねない。

歴史資料館は、歴史や文化、風土を皆さんに再発見してもらうため計画している。現在まだお示しするプランではないが、古代から現代に至る歴史が分かる常設展示スペース、定期的な企画を実施できるスペース、町民グループが作品展示できるようなスペースが必要と考えている。

早川 教育長

建設予定地は津幡城跡でもあり、街中活性化の核となるよう建物はもとより展示や運営に工夫を凝らし、多くの来館者を呼び込めるような施設の建設を望む。現在計画中の歴史資料館のコンセプトおよび進捗状況を問う。

今後の計画は、平成26年度に実施計画、27年度に建設、28年度に開館を目指す。



▲街中活性化となるか (津幡城跡)



中村 一子 議員

ズバリ 町政を問う

いっぴ

路線改正後の 周知方法は

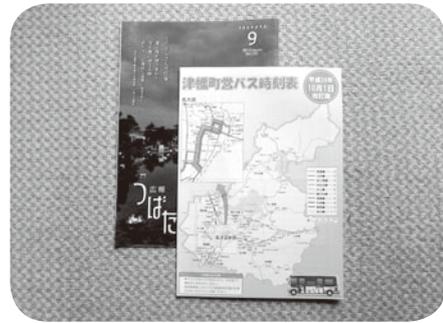
全世帯にバス時刻の 冊子を配布

町営バス

中村 議員

町営バス太田線と領家線の2路線が新設され、10月1日から走行しているが、路線改正後の使用状況と周知の方法は。また、改正後バス事業はいくら増額になるのか住民への利便性を高める工夫をせよ。

町民から大型店舗などへの買い物バスをどの要望も多く、中山間地・市街地など多方面の方が買い物バスとして利用できるように新路線の運行を計画した。平成24年9月に町営バスの時刻表を冊子で全世帯に配布したが、運行間もないので正確な利用者数は出ていない。今回の改正で約540万円の支出増となる見込みである。



▲配布された時刻表

男女共同参画

地域防災計画策定に 女性の視点を

それぞれの視点を 反映している

中村 議員

地域防災計画や復旧・復興計画、避難所運営には女性の視点が必要不可欠である。

町防災会議委員に女性を積極的に起用し、意思決定の場に女性の参画を求め。また、障害者や

高齢者など社会的弱者の視点も取り入れよ。

災害直後の3日間の飲料・食糧・生活物資の確保が大切であり、近隣のスーパーや小売業者、民間企業などと協力協定を結ぶ。

矢田 町長

防災会議委員は国・県の出先機関や町の町長・部長などから選出された代表者で構成され、女性になることもある。災害弱者からの代表については、それぞれ担当する職員が出ており、視点を反映している。

3日間の備えについては、住民みずからの自助として提案されたものである。近隣スーパーや小売店などと協定を結び生活物資を町が優先して確保すると、かえって流通、統制を乱すため、考えていない。



▲炊き出し訓練
(町防災総合訓練)

その他の質問

Q 農業公園基本計画を示せ。

A 現時点での内容を12月の議会全員協議会で示す。

Q 投票率の低い若者の投票行動啓発を。

A 従来からの啓発に加え、小学生を対象に選挙の模擬投票体験教室を実施する。

ん質問



森山時夫 議員

防災無線

屋外拡声子局の管理は

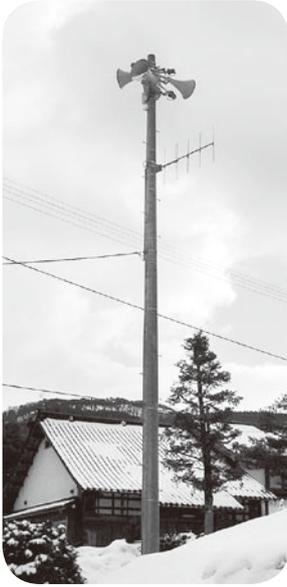
日常管理は必要ない

森山 議員

長 総務部長

屋外拡声子局の鋼管柱の設置場所は、山間地では建屋から離れた場所が多い。また、送受信装置は柱に固定され、高さも約1・5mと比較的低く、山間地では雪に埋まり除雪作業で区の負担が大きくなる。

電波状況などの関係で民家や集会場から少し離れたところに設置する地区が一部にあるが、雪をかき分けていかなければならないような場所の設置はない。場所は区長と相談して決定した。区には緊急時に備え、操作ボックスの鍵の保管をお願いするが、日常の見回り、点検など、機器管理は必要なく、特に問題はない。



▲雪の中でも大丈夫

子供の広場の安全対策を

月に一度は点検を実施

森林公園

森山 議員

森林公園の子供の広場に設置されている遊具は劣化が進んでいる。また、広場の周囲はさやぶの谷になっており、子どもが誤って転げ落ちる危険性がある。利用度の高い子供の広場周囲に安全柵の設置や遊具の更新など、環境整備を県に強く要望せよ。



▲事故を未然に防げ

矢田 町長

園内にある鉄棒、丸太滑り台などの遊具は、県指定管理者の森林公園地域振興会・金沢森林組合エコグループが安全性を考慮し、点検している。特に子供の広場は、月に1回全体の点検を実施し、事故の未然防止に努めている。

広場周囲の安全柵の設置および遊具の更新などの環境整備は、利用者の意見とし、設置者の県に要望していく。

その他の質問

Q 防災無線による情報伝達は万全か。

A できる限り万全となるよう努めたい。

Q 森林公園を利用する園児や児童・生徒の利用数は。

A 利用数は年々増加している。



黒田英世 議員

ズバリ
町政を問う

いっば

東海・東南海地震の発生が危惧され、多くの企業は移転を考慮しており、当町は、地の利と広大な面積を活用すべきである。地価など誘致企業との諸条件は長期的観点からの柔軟な判断が必要であり、既存の工業団地にこだわることなく、本来の意味でのオーダメード方式に取り組むべきである。

黒田 議員

産業振興

企業誘致活動を
活性化せよ

政策アドバイザーと
連携を取り積極的に

矢田 町長

企業誘致は希望を抱く若者を地域で育て、活力ある町にするには重要な施策である。インターネットを活用し、位置やアクセスを分かりやすくしたり、県企業誘致ガイドとリンクし用地の紹介をしたりしており、今後町内の空き工場の遊休物件も掲載する。

産業振興担当政策アドバイザーと連携を取りながら企業誘致専門員の登用など人材確保も検討し、積極的に取り組むたい。



▲楽しくボール遊び
(親子サロン)

児童虐待

早期発見が重要だ

地域全体で

見守るよう啓発

黒田 議員

児童虐待は癒しきれない心の傷を残し、痛ましい悲惨なことである。いじめと同様に早期に発見することが重要だ。それには地域全体で子どもを守っていく体制が必要である。早期発見には、近所の役割が大きい。虐待を見逃さず、児童虐待防止法による通告義務があることを広報つばたで啓発するなど、町における体制は万全か。

矢田 町長

平成24年4月から児童虐待に関する相談窓口として健康福祉課に子ども相談係を設置し、児童福祉司、保健師、社会福祉士などの専門職が連携して対応している。

今後もさまざまな啓発活動を強化していく。早期発見と見守り体制の充実を図るため、関係機関と連携を強化し、子どもたちが安心して過ごせる地域づくりに努めていく。

その他の質問

Q 病児や病後児・休日などの保育環境を充実させよ。

A 子育てサポートセンターなどで病後児および休日の預かり保育を実施している。病児保育は現状では困難。

ん質問



八十嶋孝司 議員

地方税

滞納整理機構への参加意思是現時点では考えていない

八十嶋 議員

当町の税金の滞納額は、担当課の努力により年々減少している。これ以上の徴収率向上には厳しいものがあると考えます。県、白山市、野々市市、かほく市が参加する石川県中央地区地方税滞納整理機構では、効果を上げていますと聞く。町はこの機構に参加する意思はあるのか。



◀ 収納率UP!!

長 総務部長

平成20年に開設した納税推進室の取り組みが成果を挙げてきている。

機構への参加は収納率の向上に加え、人材の育成といった副次的な効果も期待できるが、派遣職員の確保などの課題もあり、現時点では考えていない。

今後も納税推進室を中心に徴税体制の強化を図っていく。

通学路

安全確保を

平成25年度以降も対策費を予定している

八十嶋 議員

町内には危険な通学路が多くある。これまでも安全性の確保に向けてさまざまな対策を講じてきたと思うが、いまだに危険と思われる通学路が多く存在する。登下校の安心・安全を確保することは行政の重要な責務であり、積極的に予算化し、危険な通学路を一掃せよ。

矢田 町長

国や県の関係機関、津幡警察署、町教育委員会、各PTAなどと合同で7月から11月までに行った総点検で、危険と思われる通学路は62か所あった。うち対策済みが40か所、対策予定が22か所となった。

平成25年度以降に約5290万円の対策費を予定し、これらを解消していく。



▲改良が待たれる通学路

その他の質問

Q 滞在型の観光のできるまちづくりを。

A 既存の宿泊施設をフルに活用していきたい。



塩谷道子 議員

ズバリ 町政を問う

いっば

再生可能エネルギー

可能性を調査せよ

石川高専との

共同研究を検討中

塩谷 議員

自然エネルギーへの取り組みは地域ごとに取り組むことが有効であると言われている。町としてどんな再生可能エネルギーの可能性があるのか、検討すべき時期に来ている。

津幡小学校で太陽光発電、河北郡市広域事務組合で風力発電システムなどを設置しているが、発電量が小さく期待値には程遠いのが現状である。再生可能エネルギーへの取り組みは不可欠と考えており、平成25年度から石川高専と立地調査やシステム開発の共同研究を考えている。



▲町でも取り組む太陽光発電 (津幡小学校)

宮川 環境水道部長

要介護認定者全員に 控除認定用紙を送付せよ

25年度から送付する

控除申請

塩谷 議員

要介護認定者は確定申告時に申請すれば障害者控除が受けられるが、この制度を知らない人がいる。要介護認定者全員に障害者控除の認定用紙を送付せよ。

岡田 保険年金課長

平成25年度から、対象者の負担軽減と利便性の向上を図るため、障害者控除対象認定書を交付の対象となる要介護・要支援認定者全員に送付する。



▲障害者控除が受けられます

その他の質問

Q 農業公園構想の再考を求める。

A 計画案を作成中である。

Q 役場の非正規職員を正規職員とすべきである。

A 適正な職員数の管理に努め、可能な限り正規職員率の改善に努めたい。

ん質問



荒井 克 議員

D 被害者の支援は

V 相談窓口の充実を 検討する

荒井 議員

DV（ドメスティック・バイオレンス）被害者の増加とともに行政としての基本的支援が重要となっている。昨年の相談件数は何件か。相談窓口の統一や専門相談員の配置、関係機関との連携や調整など、相談しやすい環境づくりに積極的に取り組め。

長 総務部長

平成23年度にあった身体的、精神的、経済的、社会的、性的暴力、子どもへの虐待などの相談は延べで294件、実件数54件である。

DV相談窓口は総務課となっているが、実質的には地域包括支援センターや子ども相談係などで対応している。

今後とも広報・啓発活動の充実や専門職員員の増員も含め、相談窓口の充実に向けて検討していく。

交流人口拡大

イベントの充実を図れ

積極的に取り組んでいく

荒井 議員

11月に初めて開催された町商工会工業部会主催の工業展は、子どもたちや石川高専の参加もあり好評であった。行政としても町内各種団体が主催するイベントには積極的に支援していくべきである。

今後開催予定の全国市町村交流レガッタ津幡大会やスポーツマスターズ石川大会は、町を全国にPRする絶好の機会であり、特産物販売や名所案内、早急な競技誘致に取り組め。

矢田 町長

北陸新幹線金沢開業に向けて、さまざまなイベントが企画されている。また、平成27年度に当町での開催が決定している全国市町村交流レガッタや石川県で開催されるスポーツマスターズなどは交流人口の拡大、町を全国に発信する絶好の機会である。関係機関とも協議し、積極的に取り組んでいく。



▲工業展に現れた義仲



酒井義光 議員

ズバリ 町政を問う

いっば

安全確保

交差点の視界を遮る
植栽の手入りを

今後も啓発に努める

酒井 議員

見通しが悪い交差点にはカーブミラーが取り付けられている。見通しを悪くしている原因は、植栽などのはみ出しによるものが多い。

木や垣根の道路へのはみ出しで、通行上危険な箇所は、その都度、地元区長の協力を得ながら所有者に直接指導している。今後も現地での直接指導、広報での啓発に加え、ホームページやケーブルテレビなどを活用し啓発に努めていく。

竹本 産業建設部長



▲カーブミラーで安全確認

天神の湯を 町の活性化に

現時点では考えていない

温泉活用

酒井 議員

倉見地内に「天神の湯」との名称で手湯・足湯の施設が無料で開放され、多くの利用者が賑わっている。

施設の所有者から、町として周辺一帯の活性化を図るなら、協力を惜しまないとのことであった。交通の便もよく、1か所で3種類のお湯が湧く温泉を町の活性化に活用できないか。

矢田 町長

1か所で3種類の泉質があることは大変魅力的であり、地域おこしにつながってくれることを期待している。町の活性化に向けての同施設の利用は現時点では考えていない。しかし、施設所有者の理解と協力を得ることができれば、当該施設を含めた周辺地域・施設のPR活動をはじめとした取り組みは可能と考える。



▲湯量が豊富な天神の湯

ズバリ 町政を問う



道下政博 議員

リース方式で 公共施設を整備せよ 節減効果の検証を行う

LED照明

道下 議員

LED照明への切り替えは、初期費用が重い負担となる。逼迫する電力事情と省エネ対策を推進する手法の一つとして、民間資金を活用したリース方式がある。

この方式の採用によって新たな予算措置を講ずることなく、電気料金の節減分でリース料金を賄うことが可能であり、前向きに検討すべきである。

矢田 町長

町が管理する全街灯をLED化した場合、節減費用は単純計算で年間約400万円と見込まれる。10年リースで採算を取るには年間約540万円の節減が必要であり、リースでの切り替えは現状ではメリットがないと考えている。

今後は省エネや温暖化対策の一環として、財政状況を見ながら、公共施設のLED化に積極的に取り組んでいく。



▲家庭に眠る宝

リサイクル

レアメタルなどのさらなる回収を 広報などで啓発する

道下 議員

使用済みの小型家電に含まれる貴金属、レアメタル（希少金属）などの回収を推進する小型家電リサイクル法が、平成25年4月に施行となる。これは自治体とリサイクル事業者が連携し、地域の実態に合わせた形でリサイクルを推進することが狙いとなっている。自治体がどれだけ参加するかがリサイクル推進の鍵となることから、積極的な参加、取り組みを提案する。

矢田 町長

河北郡市広域事務組合では、リサイクルプラザの完成を機に、燃えないごみの中から鉄やアルミなどを分別している。また、さらなるごみの減量化と資源化を図るため、選別後、リサイクル業者へ売却し、鉄鋼部品などが抽出されている。

町独自の取り組みは考えていないが、広報などで啓発を図っていく。

その他の質問

Q 子ども・子育て関連3法案の成立を受けて「子育て環境」の整備を。

A 国の動向を見極め、迅速かつ効率的な運用を図っていく。

Q 通学路の速度制限「ゾーン30」の導入を図れ。

A 道路管理者、警察などの関係機関と連携し検討する。

追跡 あの質問のゆくえ



▲購入された放射線量測定器

これまでに行われた質問や提言がどう取り
組まれたか、2項目を選びレポートする。

津幡小通学路の安全確保を

平成23年6月議会 荒井 克議員

津幡小学校の新校舎建設にともない、通学路の状況を再調査し、子どもたちが安全、安心して通学できるよう交通安全対策に取り組むべきである。

答 弁

登下校の指導を強化

津幡小学校近辺の通学路は道路幅も狭く危険だが、歩道の設置は容易ではない。

児童の一行登下校の順守、安全ボランティアの街頭指導、教職員の下校指導などを実施しながら、案内標識、横断歩道の設置を含め、安全確保に努めたい。

志賀原発の事故対策を

平成23年12月議会 黒田英世議員

町民の生命と財産を守るという立場から、志賀原発の再稼働やプルサーマル計画に反対の意向を鮮明にすべきである。

その上で、放射線量の定点観測、安定ヨウ素剤の備蓄など、事故対策を講ずるのが、町長の責任である。

答 弁

原発に関する国の指針を注視する

志賀原発の再稼働、プルサーマル計画への反対に関しては、県や地元志賀町の判断が優先される。

緊急時における危機管理はトップダウンが基本である。国の指針がはっきり示されれば、安定ヨウ素剤の必要数、保管体制などを検討し、備蓄する。放射線測定器はすでに購入に向けて検討をしている。

その後

通学路の整備を予算化

平成24年12月会議で、通学路の安全を確保する予算を決定した。対策実施済箇所を含め、24年度中に津幡小通学路を含む8路線の対策を実施する。

今後は、25年度から27年度までに残りの8路線の順次対策工事を実施する。

対策必要箇所は今後も増加する場合も考えられ、新たな国庫補助制度などを調査研究しながら早期に対策を実施する。

その後

安定ヨウ素剤の購入を決定

平成24年4月から町内5か所を観測地として放射線量の測定データをホームページに掲載している。

安定ヨウ素剤は、購入に向けて9月会議で予算措置を行った。保管方法、配布方法は、今後の原発に関する国の防災指針や県の地域防災計画の改定に基づき実施する。

議会を傍聴しましょう

◎町政一般質問は、年4回（3月、6月、9月、12月）行われます。

お問い合わせは、
議会事務局（Tel.288-6410）



津幡町HP携帯版

みんなで楽しくやってみよう!!

サークル紹介第13回

津幡町GGA

(グラウンドゴルフ協会)

だれでもできる生涯スポーツ

事務局長 林 良晴



グラウンドゴルフは「手軽に、いつでも、どこでも、だれでもできる」をキャッチフレーズに、生涯スポーツとして昭和57年にゴルフを見習って創案されたものです。

今では全国に普及し、津幡町協会も平成2年に設立し、当初は役員30数名でしたが、普及・推進の甲斐もあり、現在では400名以上の会員数となり、毎日練習に励んでいます。

グラウンドゴルフを継続的に行うことにより、生活習慣病を改善するばかりか、精神面の改善にもつながり、健康寿命の延伸に効果を発揮します。また、仲間を増やし、新しい世界観を見い出すこともできます。

協会では年5回の冠大会と毎月月例大会を開催し、技術力の向上とエチケット・マナーを重視し、指導等も行っております。若い人たちの参加を待っております。

ディスカバー つばた②

このコラムは、町内の名所・伝承を紹介します。

～縁結びの杉 (ハノ谷)～

八幡神社にある大杉には、江戸時代中ごろ、誠実で働き者の若い百姓と美しい娘が、夢のお告げによりこの木の下で出会い、夫婦になったという伝説があります。

この木に抱きつくくと良縁に恵まれるとされています。



表紙の題字は

笠野小学校6年

宮本 怜菜さんの作品です。

私の通う笠野小学校は、少人数ですが明るくて楽しい学校です。学年に関係なく、みんな仲の良いところが好きです。



議員の寄附行為は公職選挙法で禁止されています

- 香典や結婚披露宴における祝儀（本人出席の上、通常一般の社交の範囲であるときを除く）
 - 議員や後援会がお中元やお歳暮を贈ること
 - 町民や団体が議員に寄附などを求めること
- このほか、議員活動に対して法律上の制限があります。各種会合への出席依頼には参加費を必ず明記してください。

皆さまのご理解とご協力をお願いいたします

あ と が き

新年、明けましておめでとうございます。

「一年の計は元日にあり」といわれますが、皆さまはどんな決意で新たに巳年を迎えたのでしょうか。

昨年は、全国各地から8市町もの広報研修を受け入れ、居ながらにして勉強になりました。

新年を迎え、議会だよりも一歩前進の足跡を残せるよう頑張っていきたいと決意を新たにしております。

- 編集委員長 向 正則
副委員長 多賀 吉一
委員 黒田 英世
角井外喜雄
酒井 義光
道下 政博